

補助事業番号 2022M-145
補助事業名 2022年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充 補助事業
補助事業者名 奈良県

1 補助事業の概要

- ① 奈良県産業振興総合センターの表面分析室に「蛍光X線分析装置」を導入・設置する。本機器により、材料表面を構成する高精度な元素分析が可能となり、製品の品質管理や有害元素のスクリーニング分析などの場面で活用を見込んでいる。今後は、受益者に機器を開放することで、県内ものづくり企業の技術支援に繋げていく。
- ② 奈良県産業振興総合センターの電磁気シールド室に「伝導イミュニティ試験システム」を導入・設置する。本機器により、国際規格 I E C に準拠した伝導イミュニティ試験を実施できるほか、ノイズ対策材の効果測定への活用を見込んでいる。今後は、受益者に機器を開放することで、県内ものづくり企業の技術支援に繋げていく。

2 予想される事業実施効果

- ① 「蛍光X線分析装置」の導入においては、より多くの受益者からの分析要望に応えられるように、固体試料以外の液体試料の元素分析や膜厚分析にも対応した仕様とした。また、波長分散型であるため元素の微量分析が可能である。今後は、受益者に本機器の有用性を発信することで利用普及を図りながら、技術支援を加速していく。最新機器の導入により新たな受益者開拓も期待できることから、年間96時間程度の利用時間を見込んでいる。
- ② 「伝導イミュニティ試験システム」の導入においては、より多くの受益者からの試験要望に応えられるように、試験条件の設定が多数選べる構成仕様とした。また、日本語対応ソフトウェアによる使いやすさも好評である。今後は、受益者に本機器の有用性を発信することで利用普及を図りながら、技術支援を加速していく。最新機器の導入により新たな受益者開拓も期待できることから、年間72時間程度の利用時間を見込んでいる。

3 本事業により導入した設備

- ① 蛍光X線分析装置 (<https://www.pref.nara.jp/28673.htm>)



設置場所：【奈良県産業振興総合センター 東研究棟3階 表面分析室】

- ② 伝導イミュニティ試験システム (<https://www.pref.nara.jp/28673.htm>)



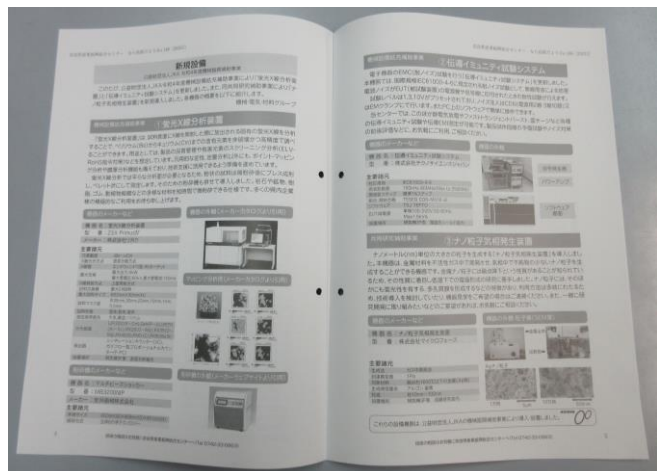
設置場所：【奈良県産業振興総合センター 西研究棟3階 電磁気シールド室】

- ③ 本事業に係る印刷物等

奈良県産業振興総合センター 機関誌「なら技術だより 2023. 2. No. 186」

([技術だより186.indd \(pref.nara.jp\)](https://www.pref.nara.jp/28673.htm))

※令和5年2月10日（発刊）



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 奈良県産業振興総合センター
(ナラケンサンギョウシンコウソウゴウセンター)

住 所 : 〒630-8031
奈良県奈良市柏木町129-1

代 表 者 : 所長 箕輪 成記 (ミノワ シゲキ)

担当部署 : 産業技術研究部 機械・電気・材料グループ
(サンギョウギジュツケンキュウブ
キカイ・デンキ・ザイリョウグループ)

担当者名 : 統括主任研究員 林 達郎 (ハヤシ タツロウ)
主任研究員 近藤 千尋 (コンドウ チヒロ)

電話番号 : 0742-33-0863

F A X : 0742-34-6705

E-mail : sangyosinko@office.pref.nara.lg.jp

U R L : <https://www.pref.nara.jp/1751.htm>